

磐田市平成 30 年度予算の概要

3 月 22 日、平成 30 年度予算案が賛成多数で可決されました。

市税収入・地方交付税が減額となる中で、各種基金（公共施設整備基金・地域振興基金等）を活用する等して、大規模事業を計上した積極予算となっております。そして、子育て・教育関係への新たな施策の充実にも目が向けられています。

平成 30 年度のまちづくりの基本目標を、「より暮らしやすい磐田市へ！市民第一で、さらに挑戦する磐田」とし、3つの重点目標が設定されています。

① 「未来を担う子どもたちのために」

子どもたちが夢や希望を持ち、たくましく育つ環境づくりを推進

② 「地域や市民のために」

まちづくりは人づくり、地域づくりの考えのもと、生活に密着した取り組みを推進

③ 「本市のさらなる発展のために」

これからの 10 年、さらにその先を見据えた成長戦略を推進

一般会計予算	632 億 10 百万円	(前年度予算 626 億 20 百万円)	前年度比 5 億 90 百万円
特別会計予算	372 億 32 〃	(前年度予算 405 億 53 〃)	〃 △33 億 21 〃
企業会計予算	239 億 05 〃	(前年度予算 233 億 38 〃)	〃 5 億 67 〃
全体合計	1243 億 47 〃	(前年度予算 1265 億 11 〃)	〃 △21 億 64 〃

※特別会計—駐車場会計・国民健康保険会計・後期高齢者医療会計・介護保険会計・財産区会計（広瀬財産区外）・農業集落排水事業会計・公共下水道事業会計
注、前年度比△33 億 21 百万円の減額の内、国保会計が△34 億 33 百万円となっております、これは県が財政主体になるという制度改正により予算規模が縮小したことによります。

※企業会計—水道事業会計・病院事業会計

一般会計予算の中で、当局は 5 つの優先施策を挙げて計 39 の新規・拡充事業が計上されています。それらを中心に、特に私の注目する事業・項目は下記の通りです。

1. 子育て支援・教育の充実

- ・ 中学校入学時の制服等購入支援 51,950 千円
中学生スタートアップ応援事業 3 万円商品券支給
- ・ 「ひと・ほんの庭にこっと」の開館 71,982 千円
豊田図書館を改修。子育て相談・遊び場機能も付加
- ・ (仮称) 中泉こども園の建設 548,403 千円
磐田中部幼稚園・西幼稚園を統合 平成 31 年 4 月開園予定
- ・ 豊田中学校区（ながふじ学府）小中一体校の整備推進 116,874 千円
実施設計に入る 平成 33 年 4 月開校予定
- ・ 小規模保育事業拡充 97,353 千円
3 歳未満児受け入れ促進 施設 1 園新設補助（全体では前年対比+215,625 千円）
- ・ いじめや不登校等に対する教育相談体制の充実 40,923 千円
スクールソーシャルワーカー増員 体制充実

2. 市民の安全・安心の確保

- ・ 合葬墓の整備 121,566 千円
社会の変化・多様化する墓地需要に対応する竜洋駒場霊園の整備
- ・ 海岸防潮堤の整備 584,403 千円

第4次地震被害想定レベル2の津波に対応する海岸堤防整備

- ・感震ブレーカーへの補助制度の創設 10,043 千円
大地震による住宅電気火災予防として

3. 活力ある地域づくりの推進

- ・デマンド型乗合タクシーの運行内容見直し 27,825 千円
帰宅便予約受付・指定施設の追加等利便性向上
- ・地域づくり応援一括交付金の拡充 39,303 千円
子ども若者健全育成事業等対応経費追加
- ・証明書等のコンビニ交付開始 46,913 千円
マイナンバーカードを活用した証明書発行を平成31年2月開始予定
- ・遠江国分寺跡の整備推進 113,628 千円
特別史跡にふさわしい公園へ再整備

4. 支えあいの推進と福祉の充実

- ・認知症初期集中支援チームの設置 1,800 千円
複数の専門職によるチームが家庭訪問し支援
- ・市民後見人の育成 779 千円
認知症で判断能力不十分の方への市民後見人養成研修
- ・生活困窮者・障がい者の就労支援強化 16,000 千円
2.5人の体制から4人に増員し、ひきこもり者等対応強化
- ・埋め込み型人口鼻を給付対象追加 3,591 千円
障がい者（児）日常生活用具給付事業に対象として追加

5. 産業の育成と都市基盤の整備

- ・中小企業等の海外での人材確保支援 897 千円
中小企業等支援として海外での人材確保機会の提供
- ・Uターン就職者への奨学金補助制度開始 6,165 千円
県外の大学に進学した若者が磐田に帰り就職した場合、奨学金返済一部補助
- ・次世代型農水産業の立地推進 354,014 千円
次世代型農水産業が新しい産業の柱になるよう立地事業者を支援
- ・未来投資推進事業 2,547 千円
輸送機器・次世代農水産業に続く第3の新産業発見や育成推進
- ・JR新駅の設置推進 1,406,779 千円
平成31年度末の開業に向け、駅舎・自由通路・ホーム建設工事等推進
- ・新東名磐田スマートICの設置推進 552,760 千円
平成32年9月の供用開始に向け、高速道路との連結工事に着手

その他 東部地区関連事業予算案特記

- ・ひょうたん池トイレ設置工事 6,973 千円, 保全用材料費 250 千円
- ・安久路調整池水路整備事業 1,425 千円
- ・新駅周辺の整備経費として磐田袋井線照明等整備工事 30,000 千円
- ・大立野福田幹線改良事業 434,700 千円
- ・和口橋（歩道橋）架橋事業 149,800 千円 (H29～H32 総事業費 1,200,000 千円)
- ・新貝土地区画整理支援事業 369,766 千円
- ・鎌田第一土地区画整理支援事業 601,031 千円